



「第9回立志式」 2年生の生徒代表が学習の取組について全体発表をしました。

TOKO JUNIOR HIGH SCHOOL

東光

第10号

『学び合い』：「誰一人見捨てない」「みんな幸せになる」Think globally, Act locally.

福岡市立東光中学校 平成30年度学校通信

これからの世界で生きるための能力

校長 高木 徹

中庭のチューリップがぐんぐんと成長しています。あと1週間で、いよいよ3年生が卒業します。すばらしい学年でした。仲間との関わりを大切に、それぞれを認め合いながら、自分の個性を伸ばしていく。何かがあるときには、みんなでまとまって、成功させていく。個人と集団が互いを高め合っていく、そんな3年生でした。今年度も、多くの方が本校の視察に来ましたが、3年生の『学び合い』の様子を見てもらうのが、自慢でした。視察をされた多くの方がたは、3年生の学習の様子を見て、「生徒一人一人が生き生きしています。ぜひ、自分の学校もこんな学校にしたい」と言って帰られました。卒業式も、これまでの3年間の成長の総まとめとなる、すばらしい式になると思います。

23日は、1月の学校だよりでお知らせしていたように、2年生による、新しい「立志式」を行いました。1時間目の企業別発表会、その後に行った、立志式での発表を見て、「2年生は、3年生の良さを受け継ぎ、さらにすばらしい東光中学校をつくってくれる。そして、この経験を未来につないでくれる」という思いを強くしました。立志式後、2年生の生徒たちが書いた「最終レポート」を読むと、あの発表だけではわからなかった、生徒たちの成長がさらによくわかりました。少しだけ紹介します。

○「…一人で考えるのではなく、チームのメンバー全員で話し合って案を出すのがよいと学びました。…仲のよい友達どうしではなく、あまり話さない人と班を組んだほうがいろんな案が出ていいと思いました。…『学び合い』でもいつも仲のいい友

達とするのではなく、あまり話さない友達どうしです。」

○「…他の人の意見も大切にしなければならぬけれど、自分の意見を相手に伝えることも大切なんだと実感しました。…また、普段の生活でも、これはどんな場面でも使えるだろう、どんなイノベーションとしてできるだろうなどと考えながら買い物したり、この人の意見にこんなものを追加してみるとおもしろそうなどと、日頃からアイデアをいろいろと考えたりしてみようと思いました。」

○「…会社に関わっての企画作成はとても難しく大変でしたが、考えていく中で、考えることの大切さや、今まで何一つとして言えなかった自分の意見を少しだけ言えてよかったと思いました。学ぶことの大切さに気づかされたのでよかったと思いました。」

昨年、日本・アメリカ・EUなど36カ国が加盟する国際機関、OECDは、「世界で生きるためのグローバル・コンピテンス（能力）」として、「自分の身の回りの出来事を世界的な視点から見る力」「自分とは異なる立場に立つてものを考える力」「自分の考えを、自分とは異なる多様な受け手に伝える力」「自らのアイデアを現場で実践する力」を掲げています。いずれも、日本の学校ではほとんど意識されてこなかった力ばかりです。しかし、今回の2年生の「最終レポート」を読むと、これらの力が着実に備わりつつあることがわかります。東光中学校は、これからも、どんな時代になっても、どんな場所であってもしっかりと生きていける人物を育てていきます。

「立志式を振り返って」

2年 左座 龍成

今年の立志式は、これまでとは違い、全く新しいことにチャレンジしました。最初に「イノベーションを起こそう」と言われたときは、全く意味が分からず戸惑いましたが、班活動を進めていくうちに、その意味や内容、そして自分たちが取り組んでいることの価値がだんだんと分かってきました。

学習の中では、まずみんなで話し合い、どのようなものが使えるか（リソース）を考えました。そして、それを利用し、どうしたらみんなが幸せになるか、意見を出し合っけて決めました。立志式当日は、とても緊張しましたが、班の全員で協力し、役割を決めて無事に発表することができたのでよかったです。

立志式を通して学んだことは、仲間と協力することの大切さです。今回の学習は、一人ではうまくできなかったと思います。班の仲間と協力し、意見をたくさん出し合ったことで、満足する発表ができました。そして、みんなが立志式をつくり上げることができたことをうれしく思いました。

◇ 第9回立志式 生徒たちの大きな志を支える学習を通して・・・

2月23日(土)、土曜授業として「第9回立志式」を行いました。今回は、昨年度までと内容を変更し、経済産業省の実証事業「未来の教室」に取り組んだ成果を発表する場としました。具体的には、(株)岩田屋三越、アンダス(株)の地元企業2社にご協力をいただき、新たなビジネスモデルの創造(ビジネスイノベーション)を探究する学習に取り組みました。生徒たちはこの学習を通して、仲間と力を合わせて答えのない「学び」に取り組み、社会や経済の仕組みに触れるとともに、働くことの意義や楽しさ、大変さを、実感をもって学ぶことができました。そして、将来の大きな志をもつための有意義な学習とすることができました。



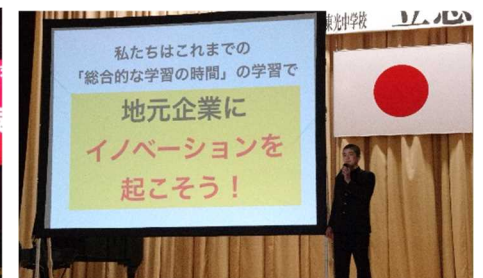
立志式の前に、企業別に全班的企画を発表しました。タブレット端末を使ってプレゼンテーションを作成し、グラフデータや動画を効果的に使用したり、提案する企画をその場でロールプレイをしたりするなど、工夫した発表をしました。各企業の方から発表に対する評価をいただき、立志式で発表する代表班2つを選出しました。



立志式の校長あいさつでは、「未来の教室」のあり方を模索する東光中の教育活動について説明をしました。



立志式では「ビジネスイノベーション」の学習についての説明を代表生徒3人で行いました。パフォーマンスを取り入れ、プレゼンテーションを使いながら、学習の目的や取組の経緯について分かりやすく説明をしました。



アンダス(株)に企画提案する代表班は、食品ロスを減らすためのアプリケーションを開発する提案をしました。



(株)岩田屋三越に企画提案する代表班は、専門性を持って、2年生全員がお互いに協力し合い、新たな立志式の形をつくり上げました。ここでも『学び合い』のよさが生きていました。



2年生全員がお互いに協力し合い、新たな立志式の形をつくり上げました。ここでも『学び合い』のよさが生きていました。

◇ 堅粕・東光青少年健全育成大会が行われました。

2月9日(土)、堅粕・東光青少年育成大会が行われました。地域の青少年育成協議会が主催のこの会も35回目となりました。善行者表彰として、東光中からは、地域行事等に貢献している吹奏楽部と夏休み中の博多駅東側の花壇の水遣りを行っている部活動生が表彰されました。また、小学校、中学校のそれぞれで、無遅刻・無欠席だった児童・生徒に贈られる皆勤賞の表彰も行われました。



Teacher's Commentary

「3年生、卒業に向けて・・・」

今年の3年生の良いところ、それは相手のことを思いやり、受け止めることができる心の広さや優しさだと感じています。本当の優しさという基盤の上に、個性の豊かさ、仲の良さ、団結力の高さが成り立っている、本当に素晴らしい学年です。今、3年生は卒業に向けて、「文集づくり」や「振り返りプレゼンづくり」など7つのグループに分かれて取組を行っています。どのグループも感謝の気持ちを表そうと計画を立て、一生懸命に活動しています。その企画力、運営力には驚かされます。3年間、多くの行事に様々な立場で参加し、企画、運営を行ってきた成果として身についたこの力は、もともと持っている優しさとおわせて、強い武器になると確信しています。自分達で考えて行動する力をもつ3年生なら、堂々とした立派な姿を卒業式で見せてくれることでしょう。保護者の方々、地域の方々、ぜひ卒業生の成長した姿をご覧いただきたいと思います。

3年2組 担任 谷 紀子

今後の予定

- 3月 1日(金) 3年生を送る会 PTA 年度末総会
- 6日(水) 3年公立高校入試く(～3/7(木))
- 1・2年授業参観・懇談会
- 7日(木) 3年同窓会入会式
- 8日(金) 第72回卒業証書授与式
- 14日(木) 3年公立高校合格発表
- 20日(水) TOKO UNITED
- 22日(金) 修了式・離任式

【平成31年度】

- 4月 8日(月) 前期始業式・赴任式
- 10日(水) 第73回入学式
- 12日(金) 授業参観・学級懇談会